

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 5 月 17 日(2022.5.17)

【公開番号】 特開 2021-183184(P2021-183184A)
【公開日】 令和 3 年 12 月 2 日(2021.12.2)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-058
【出願番号】 特願 2021-136955(P2021-136955)
【国際特許分類】

A 6 3 F 13/54(2014.01)

10

A 6 3 F 13/35(2014.01)

A 6 3 F 13/69(2014.01)

A 6 3 F 13/533(2014.01)

A 6 3 F 13/792(2014.01)

A 6 3 H 3/00(2006.01)

A 6 3 H 3/33(2006.01)

A 6 3 H 5/00(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 13/54

A 6 3 F 13/35

20

A 6 3 F 13/69 5 1 0

A 6 3 F 13/533

A 6 3 F 13/792

A 6 3 H 3/00 Z

A 6 3 H 3/33 C

A 6 3 H 5/00 C

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 5 月 6 日(2022.5.6)

【手続補正 1】

30

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ端末、ユーザ端末と通信可能なサーバを含む音データ提供システムであって、
サーバは、複数の音データを記憶する記憶手段及びユーザ端末へ音データを送信する通信手段を備え、

ユーザ端末は、複数の音データのいずれかに紐付けられる 1 以上の音データ選択領域を表示する表示手段と、前記 1 以上の音データ選択領域から 1 つの音データ選択領域を選択するユーザによる選択入力を受け付ける入力手段と、ユーザによって選択された音データ選択領域に紐付けられる音データである選択済の音データをサーバから受信する通信手段と、を備え、

40

前記 1 以上の音データ選択領域においては、同一の音データが前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられないように構成されており、

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定される、音データ提供システム。

【請求項 2】

ユーザ端末は、ユーザによって既に選択された音データ選択領域の再度の選択を不可能と

50

する制御手段を更に備える、請求項 1 に記載の音データ提供システム。

【請求項 3】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは音データ選択領域が選択されると再度決定される、請求項 1 または 2 に記載の音データ提供システム。

【請求項 4】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

前記表示手段は、1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データがユーザに認識できないように音データ選択領域を表示する、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 5】

前記表示手段は、複数の音データ選択領域を表示し、既に選択された音データ選択領域と他の音データ選択領域とを異なる態様にて表示する、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 6】

前記表示手段は、既に選択された音データ選択領域が選択済であることを示し、他の音データ選択領域が未選択であることを示す、請求項 5 に記載の音データ提供システム。

【請求項 7】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

前記表示手段は、複数の音データ選択領域を表示し、
選択済の音データに紐付けられる音データ選択領域は当該選択済の音データに基づく音を出力装置において出力するための選択領域であることを示し、他の音データに紐付けられる音データ選択領域は音データを取得するための選択領域であることを示す、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の音データシステム。

【請求項 8】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

サーバは、選択された音データ選択領域に紐付けられる音データがサーバの記憶手段にユーザに利用可能な状態で記憶されているか否か判定し、利用可能な状態で記憶されていると判定されると、サーバの通信手段は、前記音データをユーザ端末に送信する、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 9】

サーバの記憶手段は、1 以上の音データを含む 1 つのグループとして記憶する、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 10】

所定のキャラクタを示すキャラクタ識別情報が各グループに紐付けられ、
各グループに含まれる音データは当該グループに紐付けられたキャラクタ識別情報が示すキャラクタに関連する音データである、請求項 9 に記載の音データ提供システム。

【請求項 11】

音データは、当該音データのグループに紐付けられたキャラクタ識別情報が示すキャラクタの台詞データである、請求項 10 に記載の音データ提供システム。

【請求項 12】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

前記 1 以上の音データ選択領域は、第 1 のグループの全ての音データが選択済となった場合に、他のグループの音データに紐付けられる、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

10

20

30

40

50

【請求項 1 3】

前記表示手段は、所定の対価の支払い処理が実行された場合に、対価支払い処理が実行されて選択可能とされた 1 以上の音データ選択領域を選択可能に表示する、請求項 1 ～ 1 2 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 1 4】

前記複数の音データは、所定期間のみ音データ選択領域に紐付けられる音データを含む、請求項 1 ～ 1 3 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 1 5】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

前記サーバの記憶手段は、前記複数の音データの各々に、第 1 の価値情報または第 1 の価値情報よりも高い価値を示す第 2 の価値情報を紐付けて記憶し、第 2 の価値情報に紐付けられた音データよりも第 1 の価値情報に紐付けられた音データを多く記憶する、請求項 1 ～ 1 4 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 1 6】

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定されることに代えて、または、加えて、

前記 1 以上の音データ選択領域は複数の音データ選択領域であり、1 つの音データに紐付けられる音データ選択領域と、複数の音データに紐付けられる音データ選択領域を含む、請求項 1 ～ 1 5 のいずれか 1 項に記載の音データ提供システム。

【請求項 1 7】

複数の音データのいずれかに紐付けられる 1 以上の音データ選択領域を表示する表示手段と、前記 1 以上の音データ選択領域から 1 つの音データ選択領域を選択するユーザによる選択入力を受け付ける入力手段と、ユーザによって選択された音データ選択領域に紐付けられる音データである選択済の音データをサーバから受信する通信手段と、を備え、

前記 1 以上の音データ選択領域においては、同一の音データが前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられないように構成されており、

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定される、ユーザ端末。

【請求項 1 8】

ユーザ端末によって実行されるプログラムであって、前記ユーザ端末を、

1 以上の音データのいずれかに紐付けられる 1 以上の音データ選択領域を表示する表示手段と、前記 1 以上の音データ選択領域から 1 つの音データ選択領域を選択するユーザによる選択入力を受け付ける入力手段と、ユーザによって選択された音データ選択領域に紐付けられる音データである選択済の音データをサーバから受信する通信手段として機能させ、

前記 1 以上の音データ選択領域においては、同一の音データが前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられないように構成されており、

前記 1 以上の音データ選択領域に紐付けられる音データは抽選処理により決定される、プログラム。

10

20

30

40

50